授業科目名	情報基礎論	大学名	作新学院大学
科目区分	ＶＵ連携講座	開講時期	前期（4 月 11 日～8 月 2 日）
3 部・学科等	人間文化学部・人間文化学科	曜日	木曜日
必修・選択区分	選択	時限（時間）	3 時限目　13：00～14：30
標準対象年次	全学年	授業形態	講義
単位数	２単位	授業会場	学内講義室
担当教員名	藤本　一男		
電話番号（代表者名）	028-667-7111 （作新学院大学）	e-mail アドレス	fujimoto@sakushin-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けません。e-mail で事前に連絡もらえれば、いつでも質問や相談に応じます。		

授業の概要

＜授業の目標及びねらい＞

情報リテラシーというと皆さんは、何を思い浮かべるだろう。コンピュータやインターネットの使い方だろうか。これに似た言葉に、メディア・リテラシー、コンピュータ・リテラリーという言葉もある。この講義では、コンピュータやインターネットの使い方ではなく、それらに、振り回されず活用していくために必要な視点を獲得してもらうことを目的としている。今年度は、ビッグデータ、人工知能についても考察を行う予定。

＜前提とする知識・経験＞

本講義は、コンピュータシステムの使い方の講義ではありません。そのため、コンピュータに関する知識経験の有無は講義の理解に影響することはありません。

＜授業内容と具体的な進め方＞

講義の中では、情報技術の最新の動きなどにも触れます。しかし、それ以上に、従来からの情報の「表現」、伝達方法、などの、非 IT 的な領域（象徴的には、身体）に思いを寄せてもらいます。そのことなしには、IT 化が進み、社会の自動化が高度になる社会の中で、自律的にものを考え行動する人間として成長することは難しいからです。

抽象的な理論を理解してもらうために、映像資料を活用します。講義中の質問はもちろん、電子メールによる質問も歓迎します。

＜授業計画＞

第１週　講義の概要
第２週　情報とはなにか
第３週　情報に対する工学的アプローチと文化社会的アプローチ
第４週　Google 検索＋レコメンデーションが生み出す意識
第５週　情報と権利
第６週　監視社会の諸問題
第７週　ネット社会と著作権
第８週　情報とコミュニケーション
第９週　シンボルを操るものとしての人間
第１０週　声、文字、電子文字
第１１週　ネットと自我の変容
第１２週　匿名性の行方
第１３週　人口知能が人間の知能を超える!?
第１４週　社会的不安症と社会的依存症
第１５週　情報と社会（関係の対象化と関係の対称性）
第１６週　期末試験

＜教科書・参考書・教材と入手方法＞

講義資料集（頒布価格 500 円程度）を使用する予定。必要に応じ随時プリントを配布する。また、内容に関する参考文献は講義の中で紹介する。

＜成績評価法＞

講義ごとに課題や感想をレプライシートに記入してもらう。これで講義への参加度合いを確認。出席と期末に行う試験の結果によって最終評価を行う。

＜教員からのメッセージ＞

講義資料、関連科目を、Web で公開しています。http://www.sakushin-u.ac.jp/~fujimoto